



グループ全体の事業拡大に向けて 業務システムの権限管理を高度化

NSSOLの「AAO(認証認可ライブラリ)」で新システムを構築

背景

基幹系業務システムの刷新に際して、業務システムの利用権限を管理する仕組みを高度化する。既存の利用権限管理システムを刷新、グループ会社や取引先を含めた幅広いユーザーの利用権限を一元的に管理可能にする。



株式会社ローソン
ITステーション
コーポレートシステム
部長
小畑 康治氏



株式会社ローソン
ITステーション
コーポレートシステム
シニアマネジャー
高原 理彦氏

ソリューション

実績のある新日鉄ソリューションズのコンポーネント「認証認可ライブラリ」を採用し、新しい利用権限管理システムを構築。併せて技術情報をガイドライン化し、各業務システムを容易に展開できるようにする。

成果

目標通り、グループ会社にわたり、きめ細かく利用権限を一元管理できるシステムがリリースされ、社内およびグループ会社から利用を開始している。今後は取引先へ適用範囲を広げて、これまで以上に事業拡大を支援する。

基幹系業務システム刷新に際して、利用権限管理の高度化を検討

日本全国に1万店以上を展開し、1日当たり約1000万人が来店するコンビニエンスストア大手のローソン。「みんなと暮らすマチを幸せにします」という企業理念の実現に向けて、積極的に事業を拡大している。

ローソンが「Webメニューシステム」という権限管理システムの高度化を検討したのは、2010年初めごろである。同社ではシステム基盤を横串で管理しており、Webメニューシステムは、多数ある基幹系業務システムのユーザーに対して、組織や役職に応じた適切な利用権限を横断的に付与する役割を担っている。

構築当初は当時の状況に合ったシステムだったが、経営環境の変化に伴って課題が表れていたという。

「AAO(認証認可ライブラリ)」によるシステムを提案したNSSOLを選定

ローソンは、新しいWebメニューシステムの要件をまとめ、複数のITベンダーにソリューションの提案を募る。その結果、同社が選定したのが「認証認可ライブラリ」というコンポーネントで新システムを構築するプランを提案した新日鉄ソリューションズ(NSSOL)だった。

特に注目したのが、認証認可ライブラリにマルチカンパニーの要件に適合する「マルチテナント機構」が実装されていること、コンポーネントを使うため柔軟なカスタマイズが可能であること、ユーザー数が拡大しても費用が増加しないライセンス体系だったこと——である。さらにNSSOLは、各基幹系業務システムを新Webメニューシステムへ対応させるための技術情報をガイドラインとして用意することを提案段階から示した。

社内・グループ会社向けに運用開始、今後は取引先へ適用を拡大

新Webメニューシステムは、2011年6月から、まず社内およびグループ会社向けに運用を開始している。新しいWebメニューシステムでは、グループ会社や取引先を含めた幅広いユーザーの利用権限を管理できる。

信頼性も追求した。障害発生時もシステムが停止しないように、データベース(DB)システムでは、HAクラスター構成を採用している。さらにDB破損などのDB停止時も、スタンバイDBへ切り替え、サービス継続ができる対策も講じた。

満足度は高い。新Webメニューシステムのユーザーインターフェースは、だれもが直感的に利用できるようになっている。今後、ローソンは新Webメニューシステムの適用対象を計画通り、取引先にまで拡大する予定だ。

Key to Success

ローソンが基幹系業務システムの権限管理を高度化した背景は、グループ全体の事業強化である。

ITステーション コーポレートシステム 部長の小畑康治氏は「当社はグループ会社や取引先との連携を強める経営方針を打ち出しており、基幹系業務システムをグループ全体で最適化するシステム再構築プロジェクトをいくつか推進しています。しかし従来のWebメニューシステムはローソン単体での利用を前提にしており、グループ各社で利用するのは無理がありました」と振り返る。

新しい基幹系業務システムでは、会社別の縦割り構成を改め、目的・用途別に再編。グループ会社や取引先と共同利用することで投資効率を高める。そのため、権限管理を担うWebメニューシステムも、グループ会社や取引先を含めた幅広いユーザーを管理できることが不可欠だった。

また、従来のWebメニューシステムは、基幹系業務システムと密接に連携しており、構築・改修に時間がかかるようになりつつあった。そこで新Webメニューシステムでは、緩やかな連携と疎結合に基づく仕組みを目指した。

ローソンはこうした要件をまとめ、複数のITベンダーに提案を募る。その結果、選定したのが「認証認可ライブラリ」というコンポーネントによる新システム構築プランを提案した新日鉄ソリューションズ(NSSOL)である。

ITステーション コーポレートシステム シニアマネジャーの高原理彦氏は「NSSOLは、当社のID系システムの運用実績を持っており、現行システムの仕様に加え、グループ対応の取り組みをよく理解しておられました。提案内

容も、グループ対応と段階的なシステム取容を促進できる実践的なものでした」と語る。

基幹系業務システムを新Webメニューシステムへ対応させるガイドラインを作るというNSSOLの提案も選択の決め手だった。ガイドラインがあれば、新Webメニューシステムは各基幹系業務システムとスムーズに接続可能になり、システムプラットフォームサービスの要となる。

関係各社の調整を柔軟に行ってプロジェクトを進めたNSSOL

新Webメニューシステム構築プロジェクトは2010年10月、基幹系業務システム刷新プロジェクトの一つとして始まった。

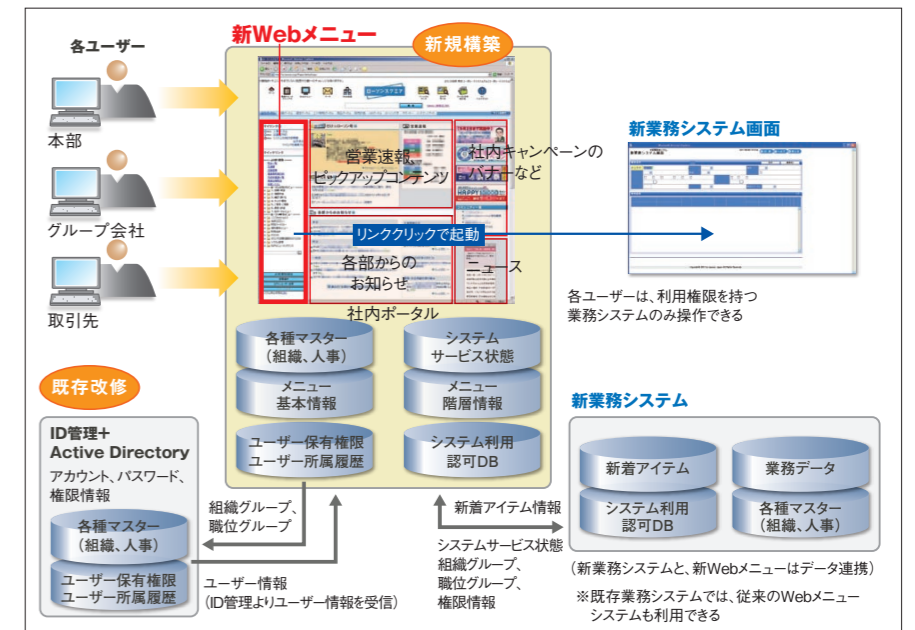
高原氏は新日鉄ソリューションズの

働きぶりを「さまざまな基幹系業務システム刷新プロジェクトが異なるスケジュールで動くなか、当社および各システムを担当するSI事業者と柔軟に調整を行い、新Webメニューシステムの構築を円滑に進めてくれました」と高く評価する。

完成した新Webメニューシステムの満足度も高い。高原氏は、「新システムのユーザーインターフェースは、だれもが直感的に利用できます。通常は、リリース時にユーザーから、何らかの問い合わせがあるものですが、このシステムでは皆無でした」と話す。

小畑氏は「複数の会社が安全に、かつ安心してシステムを利用する仕組みが整い、取引先の皆様にも当社が持つ情報をこれまで以上に効率的に提供できるようになりました。長期的には、サプライチェーン全体を強化するシステムプラットフォームとして活用していきます」と語る。

ローソンが導入した新Webメニューシステムの概要



コアテクノロジー

AAO(認証認可ライブラリ)、Oracle Database 11g、HAクラスター+スタンバイDB構成、Java

システム概要

●サーバー：5台 ●接続するシステム数：1000メニュー(最下層) ●ユーザー数：1万5000